



北広島町 定住者の声

▲淡路島まで会いに行き、連れて帰った雑種犬のバンくん。名前の由来は「番犬」からきているバンくんだけど、人なつっこい性格の上、きつねを怖がったりで全く番犬になっていないそうです。

移住のきっかけは？

以前、5年ほど会社員をしていましたが、体調を崩してしまい半年間の自宅療養という状況になってしまいました。会社に迷惑をかけてしまうことが気になり、一昨年11月に退社。

そんな中、療養中に元気もらった『食べ物』に興味と関心が湧くようになり、『食べるもの』を作りたいと思うようになったんです。元々、卵は大好きでしたし、まずは養鶏からとりかかってみようかと考えました。そして、養鶏のできる場所探しが始まりました。住まいと養鶏場の両方を確保するのはなかなか難しく、ここ北広島町の空き家バンクにも相談したり、知人に尋ねたりしていました。そんな時、友人が紹介してくれた社長さんが土地を貸してくれることになり、空きがあった近くの町営住宅に入居することにしたんです。

良かったこと・苦労したことは？

当たり前ですが、鶏の世話は毎日で休みが無いので大変です。(笑) 朝、餌やりなど一通りの世話をして仕事に行き、また夕方仕事終わりに世話をするといったサイクルです。盆と正月くらいはゆっくりしたいなあとお本音も出ちゃいますね。あと、雪道の運転は初めてだったので結構ドキドキでしたね。

お仕事は？

土地を貸してくれた社長さんの会社で造園の仕事をしています。

▲おいしそうな産みたてたまご

鶏を飼い始めた時点では50羽でしたが現在は90羽います。産みたて卵は『きみがスター』といった名前で町内の道の駅や市内の料理屋さんに出しています。





▲およそ90羽のニワトリたち。広い小屋の中で自由に動きまわり元氣いっぱい。

🌸 休日の過ごし方は？

映画を観に行ったり、大工仕事をしたりしています。何と言っても、仲間や友人たちと食べて飲んでワイワイやる時間はサイコーですね。

🌸 北広島町の魅力を教えて

人が縁を繋げてくれたおかげで、たった1年でたくさんの友人、知人ができました。ここは本当にwelcomeなところだと思います。

🌸 移住を検討している方へのメッセージ

冬の寒さに耐えられれば大丈夫です。(笑)
ひととおり、生活に必要なものはそろっている
ので。雪道も慣れですかね。



▲現在の小屋は最初に借りたところとは別の場所。
ここも知人を通じて知り合った方に借りたとのこと。
大工さんと横山さんの二人で建てたそうです。

北広島町の道の駅で売られている▼
「きみがスター」星型の箱が
とっても素敵です。



▲小屋の前に広がる畑。『今後、いろんな野菜をつくりたい
と思っています。具体的にはまだですが、自家製野菜を使用した
レストランを開くとか、夢が広がりますね。』と語ってくれました。



よこやま しんじ
横山 慎士 さん 20代
移居前：安芸郡
現住所：北広島町有間
移住年月：平成25年5月

